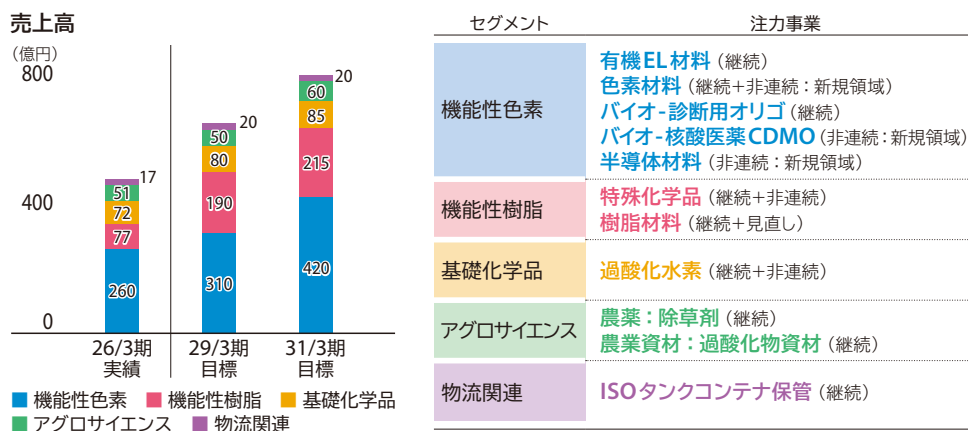


中期経営計画 成長戦略の柱

新たな中期経営計画では、前中期経営計画の課題を直視し、「独創をミガキ、共創でヒラク 本邦 嚆矢のDNAで、価値を創り、夢をカタチに」という新しいVISIONのもと、非連続な成長を目指します。その実現に向けた戦略の柱として、スピード重視の投資を行う「事業戦略」、資本収益性向上と株主還元を強化する「財務戦略」、人的資本や環境保全を推進する「非財務戦略」の3つを策定しました。これら戦略の実行により、2030年度の目標達成に向けて取り組んでいきます。

事業戦略

基盤領域における安定的な収益源の確保と並行して成長事業と位置づける「機能性色素セグメント」に積極投資します。中期経営計画期間内に「機能性樹脂セグメント」を早期に黒字化させるとともに、核酸医薬CDMO事業、半導体材料事業等の非連続の新規事業領域への展開を目指します。



レバレッジを利かせた事業戦略・経営への転換: “独創をミガキ、共創でヒラク”

- 投資パラダイムの転換と非連続な成長を支える共創の推進、「時間を買う」戦略の実行加速
 - ・投資のスピード感を最重視し、先に“器”(汎用性・拡張性ある設備)を用意し、ビジネスチャンスを的確に捕捉
 - ・戦略的アライアンスおよびM&Aの加速…実績ある経営資源の獲得を通じて、事業立ち上げの「時間を買う」、当該事業領域における市場ポジションを迅速に確立
 - ・研究開発におけるオープンイノベーションの活用…外部研究機関との共創等
 - ・戦略的な特許戦略・ライセンス取得…外部リソース活用による早期事業化、有望技術領域への多角的な布石等
- 新規事業領域への展開: これまでの事業で培った独創的技術の応用展開と外部リソースの導入による「核酸医薬CDMO事業」、「半導体材料事業」等

三位一体の推進強化: 研究開発・生産・営業の連携強化による価値創出の加速

財務戦略

「ROE>資本コスト」の実現に向け、積極的な成長投資を実施するとともに、安定的かつ適切な配当を実行します。中期経営計画期間において、増配基調を継続し、2031年3月期にはDOE3.0%以上の還元を実施する方針です。2027年3月期から2031年3月期にかけて総額60億円以上の配当を予定しています。

株主資本コストを上回る資本収益性の実現

- 不採算事業の抜本的な対策
- 資本効率と成長性を両立するための資本政策の実施: 保有資産(政策保有株式含む)の見直しを通じた資産の最適化
- 株主還元の強化: 増配の継続⇒累進配当を通じ、2031年3月期にはDOE3.0%以上の還元を実施

非財務戦略

地球環境保全を目的に、気候変動対応や環境配慮型の製品の推進に注力するほか、人的資本経営の取り組みを強化します。経営理念、PURPOSEおよびVISIONの実現に向け、人材を企業競争力の源泉であり持続的な成長に向けた原動力であると位置づけ、人的資本投資を企業価値向上の重要な経営課題として取り組みます。

サステナビリティ/ESGへの取り組み

- 地球環境の保全: CO₂排出量、産業廃棄物の削減
- 人的資本経営: エンゲージメントを高める制度の導入・取り組み
- 地域社会への貢献: 社会資本を使用させていただいていることに対する還元継続
- グループガバナンスの向上: リスクマネジメント、BCP体制の強化